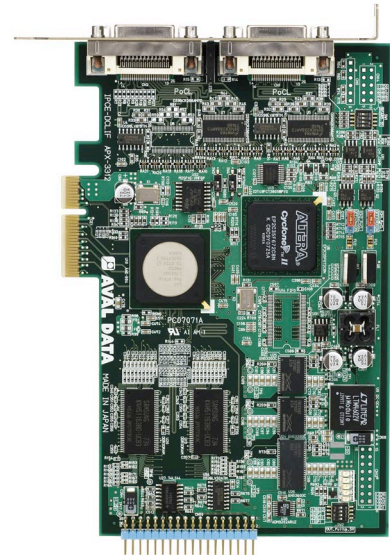


Camera Link 規格カメラ 2 台を接続できる PCI Express (×4) 画像入力ボードを開発

株式会社アパールデータ(代表: 嶋村清、本社: 東京都町田市旭町 1-25-10、URL: <http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail: sales@avaldata.co.jp)は、Camera Link 規格カメラ 2 台を接続できる PCI Express (×4) 画像入力ボード「APX-3312」を新たに開発・販売開始する。

「APX-3312」は、自社開発した PCI Express ブリッジ「AAE-B04」※1 を搭載して低価格化・高速化を進める PCI Express (×4) ボードシリーズの最新製品で、Base Configuration Camera Link 規格及びカメラ電源供給を可能とする PoCL 規格にも対応した画像入力ボード。エリアカメラ/ラインカメラどちらにも対応でき、さまざまなメーカーのカメラとの接続を考慮した製品となる。1 枚のボードでカメラ 2 台を入力・制御できることで画像処理システム構築におけるコストダウンを可能にする。従来のアパールデータ画像入力ボード製品と同様、外部トリガ及びエンコーダ入力やストロボタイミング出力等をサポートしている。(RoHS 対応製品)

製品名 : 画像入力ボード
型式名称 : APX-3312
受注開始 : 2008 年 1 月 16 日
販売価格 : ¥98,000 (消費税別)



■APX-3312 の主な仕様 :

対応カメラ	CameraLink モノクロ/カラー、エリア/ラインカメラ
画像入力	Base Configuration、20~85MHz・24bit
同期出力	カメラ制御信号 (CC1~CC4) 汎用出力 (2ch、TTL/オープンコレクタ)
同期入力	外部トリガ (TTL/オープンコレクタ/差動信号 RS-422) エンコーダ (RS-422 ラインドライバ、A/B/Z 相、最大 1MHz) 汎用入力 (TTL/オープンコレクタ)
メモリ	DDR SDRAM 128MB
システムバス	PCI Express (×4 レーン)
外形寸法	168mm×107mm
ソフトウェア	Windows XP/Vista 対応 ソフトウェア開発キット (別売)

※1 「AAE-B04」

「AAE-B04」は、ピーク帯域 1GByte / 秒の高速データ転送が可能な PCI Express (×4) 規格に対応した自社開発のブリッジ LSI。ローカルバスとの接続/メモリコントローラ/FPGA コンフィグポート/I2C シリアルポートを 1 チップに集積。PCI Express ボード開発時の工数を大幅に削減できる FPGA コンパニオンチップ的製品。アパールの自社 PCI Express 製品の核となっている。また、2007 年 11 月から LSI 単体のサンプル出荷を始め、2008 年 4 月から販売開始する。

■株式会社アバールデータ：

株式会社アバールデータ（代表取締役社長：嶋村 清、資本金：23億5409万円、従業員数：170人）は、1959年（昭和34年）8月に設立。FA分野にいち早くマイクロコンピュータ技術を導入し計測機器・制御機器の開発。1979年（昭和54年）には、ポータブルタイプのPROMプログラムPecker（ペッカー）-1発表。その後ペッカーシリーズは、高い評価を得、1985年（昭和60年）には通産省選定グッドデザイン商品にも選定された。1985年（昭和60年）より、VMEbusを採用した各種ボードコンピュータを開発。1997年には国産初のCompactPCIバスのモジュールコンピュータを発表。現在は、組込み用のコンピュータシステム製品を中心に画像処理や通信、CTI分野などの技術を持ちEmbedded Systemをハード/ソフト両面から総合的に提供している。1991年（平成2年）株式公開（現JASDAQ）。1995年（平成6年）の世界標準の品質システムISO9001の認証を取得。2001年には環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得。関連会社に株式会社アバール長崎がある。

■製品に関する問い合わせ先

株式会社アバールデータ 営業部

電話：042-732-1030 FAX：042-732-1032

電子メール：sales@avaldata.co.jpホームページ：<http://www.avaldata.co.jp>